

免許状教科	中学校 1 種 (社会)			
科目名	社会科・公民科の教育	科目分類	教職科目	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Lecture of Social Studies and Civic Education	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	とのいけ さとし	開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中	
担当者名	外池 智	修得単位	4単位	
実施方法			■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	中学校社会科の免許取得に必要な知識、思考、スキルを身に付ける。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校社会科の現行の学習指導要領について、地理的分野、歴史的分野、公民的分野の各分野の単元構成を理解し、説明できる。 ・戦後の社会科の学習指導要領の変遷について、その基本的特色を理解し、説明できる。 ・中学校社会科の授業づくりを通じて指導案を作成するとともに、それに沿った模擬授業を通じて授業実践力を身につける。 			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義は、中学校社会科の教職免許取得にかかわる授業である。プリントを配布し、それをテキストとして講義を進める。参加人数によるが、中学校地理・歴史・公民の各分野に分かれ、グループごとに実際の中学校の社会科を想定し授業づくりをしたい。随時、意見交換や討議をしたい。 ・今日の学校が抱える問題を考察し、戦前戦後の社会科系教科の歴史を踏まえ、社会科教育が当面する諸課題について、中学校を中心に考察する。 ・中学校社会科教育に関する学習指導要領を中心とした変遷と特色を理解し、実際の中学校における具体的授業を想定した授業デザインとその実践を試みる。 			
授業計画				
第1回	オリエンテーション、履修確認	第17回	実践紹介①	
第2回	スケジュール確認、社会科の位置付け①	第18回	実践紹介②	
第3回	社会科の位置付け②	第19回	中学校学習指導要領の変遷①	
第4回	カリキュラム論からみる授業構成①	第20回	中学校学習指導要領の変遷②	
第5回	カリキュラム論からみる授業構成②	第21回	授業技術①	
第6回	平成29年度版学習指導要領の特色	第22回	授業技術②	
第7回	地理・歴史・公民的分野の目標と単元構成	第23回	授業技術③	
第8回	指導案の作成①	第24回	指導案の作成①	
第9回	指導案の作成②	第25回	指導案の作成②	
第10回	指導案の作成③	第26回	指導案の作成③	
第11回	指導案の検討①	第27回	指導案の検討①	
第12回	指導案の検討②	第28回	指導案の検討②	
第13回	模擬授業①	第29回	模擬授業①	
第14回	模擬授業②	第30回	模擬授業②	
第15回	模擬授業③	第31回	模擬授業③	
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験	
授業時間外の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から新聞やTVニュースなどメディアを通じた教育の話題に目を向けるようにしてください。 ・特に、模擬授業実施に際しては、前もって練習をしてみることを。 			
履修条件 履修のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に実習に行くことを想定して、きちんと責任をもって生徒達に接する覚悟をもって授業に臨んでください。 			

テキスト	・文科省編『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』（東洋館出版社、2018年）
参考文献・資料	<ul style="list-style-type: none"> ・日本社会科教育学会編『社会科教育事典』（ぎょうせい、2000年） ・日本社会科教育学会出版プロジェクト編『新時代を拓く社会科の挑戦』（第一学習社、2006年） ・日本社会科教育学会編『社会科授業力の開発 中学校・高等学校編』（明治図書、2008年）
成績評価の方法	授業中の課題（30点）、指導案作成（30点）、模擬授業（40点）、授業への参加状況を重視する。出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができない。
オフィスアワー	水曜日 9:00-11:00
成績評価の基準	通常の授業をきちんと受講している事、指導案や模擬授業にしっかり取り組んでいる事 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）
学生へのメッセージ	「授業づくり」の面白さを体験してほしい。積極的な授業づくりを望みます。